

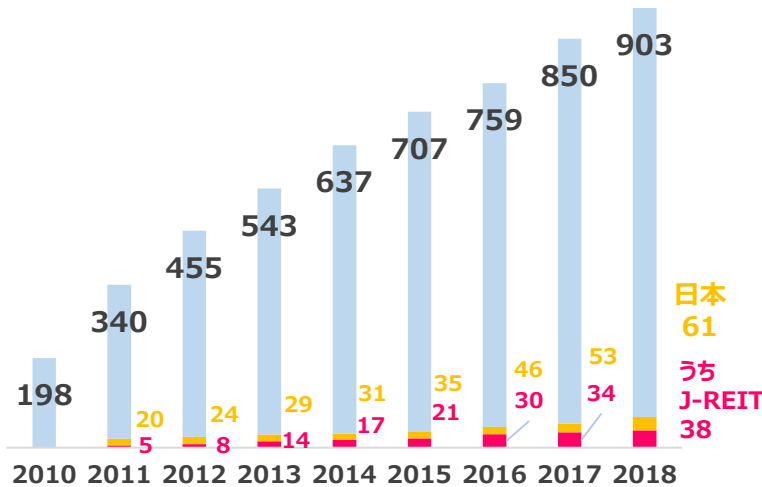
ESG不動産投資のあり方検討会(概要)

- 国連の責任投資原則 (PRI) を受け、投資家が投資先に対してESG (環境・社会・ガバナンス) への配慮を求める動きが拡大。
- 近年、SDGs (持続可能な開発目標) が国際社会全体の目標として共有され、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に総合的に取り組むことが重要とされている。
- 我が国における人口減少や少子高齢化、地球温暖化対策、防災減災等の喫緊の諸課題に対応した不動産形成を進めるため、不動産投資市場への魅力を高め、SDGsやESGに沿った中長期的な投資を多様な投資家から呼び込む環境整備が必要。



ESG投資やSDGsの観点から見た不動産投資などのあり方について検討

GRESB調査 (2018年) 参加者数



(出典) CSRデザイン環境投資顧問 (株) HP

- 欧州の年金基金グループがESG要素を不動産投資判断に活用することを目的として創設した、不動産会社・運用機関のベンチマーク
- 不動産会社・ファンド単位のESG評価



メンバー

〈敬称略／◎：座長〉

【委員】

- 大久保 敏弘 慶應義塾大学経済学部 教授
- 北岡 忠輝 三菱商事UBSリアルティ(株)コーポレート本部企画調査・ESG推進部長
- 田辺 新一 早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科教授
- ◎中川 雅之 日本大学経済学部 教授
- 中島 直人 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授
- 野村 香織 国連環境計画・金融イニシアティブ 日本ネットワーク・コーディネーター
- 堀江 隆一 CSRデザイン環境投資顧問(株) 代表取締役社長

【オブザーバー】

- 一般社団法人日本ビルディング協会連合会
- 一般社団法人不動産協会
- 一般社団法人不動産証券化協会

論点

- ・我が国で進めるべき「ESG不動産投資」の概念形成 (ESG不動産投資における中長期的なリターンの確保)
- ・機関投資家等向けの情報開示のあり方 等

スケジュール

2019年2月14日 第1回
6月頃 中間とりまとめ } 4回程度開催